

令和5年度宇都宮市地産地消推進会議（第3回） 次第

日時：令和5年11月13日（月）

午前10時～

場所：宇都宮市役所 14階D会議室

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 新任委員紹介
- 4 議題
 - ・ （仮称）第3次宇都宮市地産地消推進計画の策定について
- 5 その他
- 6 閉会

令和5年度 宇都宮市地産地消推進会議委員名簿

役職	No.	氏名	職業等	備考
第1号委員 (市議会議員)	1	ふくだ くみこ 福田 久美子	市議会議員	
	2	わかばやし めぐみ 若林 芽育	市議会議員	
第2号委員 (学識経験者)	3	あべ つねひさ 阿部 恒久	栃木県河内農業振興事務所 所長	
	会長 4	にしやま みま 西山 未真	宇都宮大学 教授	
第3号委員 (関係団体の代表)	副会長 5	みかた しげる 見形 繁	宇都宮農業協同組合 代表理事常務	
	6	のさわ かつこ 野澤 克子	宇都宮市消費者友の会 会長	
	7	てらうち みえこ 寺内 美栄子	宇都宮市農村生活研究グループ協議会 会長	
	8	てづか やすのり 手塚 安則	宇都宮市園芸振興連絡協議会 (上河内園芸振興推進協議会会長)	
	9	たのべ だいすけ 田野邊 大介	東一字都宮青果株式会社 代表取締役社長	
	10	わたなべ たかし 渡邊 崇	栃木県飲食業生活衛生同業組合 常務理事兼事務局長	
	監事 11	さとう こうだい 佐藤 弘大	公益社団法人 宇都宮青年会議所 常任理事	
	12	ますぶち さちこ 増渕 祥子	宇都宮市食生活改善推進員協議会 会長	
	監事 13	さとう かなめ 佐藤 要	宇都宮市PTA連合会 副会長	
	14	まつもと ゆずる 松本 謙	株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長	
	15	いとう もとじ 伊藤 元士	宇都宮青果商業協同組合 専務理事	
	16	さいとう たけひこ 斉藤 壮彦	株式会社東武宇都宮百貨店 食品部 部長	新任
	17	やまざき ゆうき 山崎 裕希	株式会社オータニ 商品部青果部バイヤー	
	18	かねはら えみ 金原 恵美	株式会社 Cooking&Glow 代表取締役	
第4号 (市民公募)	19	たかはし たてし 高橋 立志	市民公募委員	
	20	やまぐち みき 山口 美輝	市民公募委員	

役職	氏名	所属
事務局	會澤 和貴	経済部 次長
	枝 一輝	農林生産流通課 課長
	小林 尚志	農林生産流通課 課長補佐 森林整備・鳥獣対策グループ係長兼務
	鈴木 加代	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ係長
	高橋 清泰	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ総括
	河野 勝	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ
	金子 明日美	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ
	塚越 智美	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ
	福田 洋昭	農業企画課 企画調整グループ
相場 宗	宇都宮農業協同組合営農部総合販売課 販売係長	

資料 1

(仮称) 第3次宇都宮市地産地消推進計画の 策定について

【趣旨】

内包先の「(仮称) 第3次宇都宮市食料・農業・農村計画」における位置付けと計画の素案が固まったことから、内容等について議論いただくもの

説明事項

- 1 (仮称) 第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画での位置付け
- 2 (仮称) 第3次宇都宮市地産地消推進計画に該当する部分の内容
- 3 今後のスケジュール

1 (仮称) 第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画での位置付け

計画の全体像

【国】
「食料・農業・農村基本計画」
「都市農業振興基本計画」
「六次産業化・地産地消法」
「農林漁業者等による農林漁業及び関連事業の総合化並びに地域の農林水産物の利用の促進に関する基本方針」

【県】
「とちぎ農業未来創生プラン」
「とちぎ地産地消推進方針」
「とちぎグリーン農業推進方針」



第6次 宇都宮市総合計画

宇都宮市地産地消推進条例 (H18)

うつのみや産業振興ビジョン

宇都宮市食料・農業・農村基本計画

内包 { ◎宇都宮市地産地消推進計画
◎宇都宮市都市農業振興基本計画



[農業関連計画]

- ・ 宇都宮市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想
- ・ 宇都宮農業振興地域整備計画

[主な関連計画等]

- ・ 宇都宮市都市計画マスタープラン
- ・ 第4次宇都宮市食育推進計画 (R4~R8)
- ・ 第3次宇都宮市安全食品推進計画 (R1~R5)
- ・ 宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ (R4~)
- ・ 宇都宮市学校健康教育推進計画 (H30~R9 (R4改訂))

1 (仮称) 第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画での位置付け

宇都宮市食料・農業・農村基本計画の柱

人づくり

基盤づくり

生産流通体制
づくり

地域づくり

農業の成長産業化を目指す「産業政策」と農の多面的機能の維持や農村環境の保全を目指す「地域政策」にグリーン農業の視点を加え、横断的テーマを設定

「農業王国つつのみや」戦略プラン

稼げる農業
(産業政策)

つながる農業
(地域政策)

農業者いきいきプロジェクト

農産物価値向上プロジェクト

グリーン農業ひろがるプロジェクト

農業・農村つながりプロジェクト

1 (仮称) 第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画での位置付け

赤字が地産地消が関係する部分

「生産流通体制づくり」の施策構成

基本施策と主な事業

(1) マーケティングの強化

- ・市場ニーズの把握
- ・市場を意識した効果的なPR

(2) 市場ニーズを踏まえた生産から販売環境の充実

- ・【拡充】経営方針に応じた販路の確保
- ・【拡充】新たな付加価値の創出
- ・麦・大豆や露地野菜等への作付転換の促進

(3) 生産性向上に資する農業技術の普及

- ・農業DX・スマート農業技術の導入促進
- ・【拡充】グリーン農業技術の普及促進

(4) 地産地消の推進 《地産地消推進計画》

- ・宇都宮産農産物の利用促進
- ・食育の推進(家庭・学校等) [都市農業]
- ・【拡充】グリーン農業の理解促進

成果指標

水田における畑作物の作付面積(基幹作)

R4実績: 1,005ha

⇒ 目標(R15): 1,200ha

スマート機器導入数

R4実績: 198件

⇒ 目標(R15): 300件

「グリーン農業推進方針」に基づく取組の計画認定数

R4実績: —

⇒ 目標(R15): 770経営体

本市農産物を選択する市民の割合

R4実績: 84.7%

⇒ 目標(R15): 100% ※

※現行計画目標: 100%

活動指標

露地野菜の
新規作付面積

スマート農業機器の
補助件数

グリーン農業現地
検討会参加者数

地産地消推進店数

1 (仮称) 第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画での位置付け

赤字が地産地消が関係する部分

産業政策
(稼げる農業)

地域政策
(つながる農業)

プロジェクト

農業者いきいきプロジェクト

- ・農地の大区画化の推進
- ・麦・大豆や露地野菜への作付転換の促進
- ・スマート農業技術の導入促進 など

農産物価値向上プロジェクト

- ・経営方針に応じた販路の確保支援
- ・新たな付加価値の創出 など

市内消費拡大

グリーン農業ひろがるプロジェクト

- ・グリーン農業技術の普及促進
- ・グリーン農業の消費者理解の促進など

農業・農村つながりプロジェクト

- ・多面的機能保全活動の維持・拡大
- ・都市農村交流活動の支援 など

指標

農業所得1,000万円以上の認定農業者数

実績 (R4) : 125経営体

⇒ 目標 (R15) : 175経営体

※現行計画目標 : 190経営体

販路拡大・付加価値向上に意欲的に取り組む農業者

実績 (R4) : 135人

⇒ 目標 (R15) : 250人

環境に配慮した農産物を選択したいと思う市民の割合

新規設定 : 世論調査中

⇒ 目標 (R15) : 15%増

宇都宮の農業を大切にしたいと思う市民の割合

実績 (R4) : 92.7%

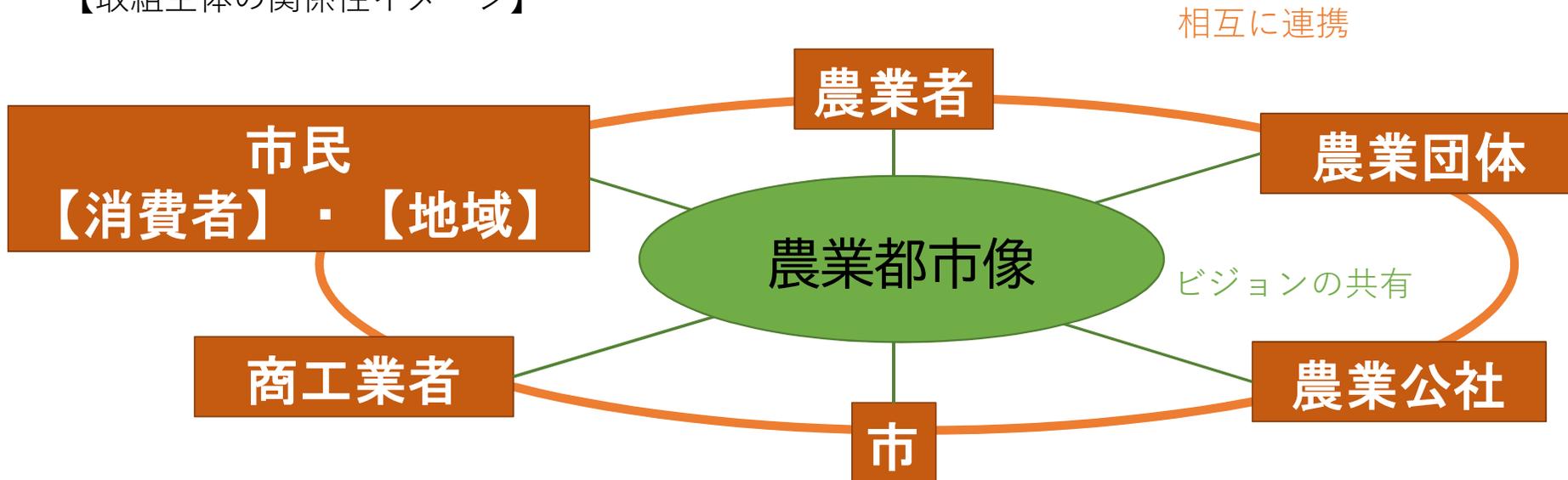
⇒ 目標 (R15) : 100%

※現行計画目標 : 100%

1 (仮称) 第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画での位置付け

本市の農業振興（本計画の推進）に当たっては，各取組主体が示す各々の役割を果たすとともに，相互に連携しながら，一体となって本市が目指す農業都市像の実現を目指す。

【取組主体の関係性イメージ】



2 (仮称) 第3次地産地消推進計画に該当する部分の内容

【目指すべき姿】

市民の環境配慮に対する意識が高まり、市内産農産物が積極的に選択されています。

【指標】

◎「生産流通体制づくり」に掲げる成果指標

宇都宮産農産物を積極的に選択する市民の割合（市政世論調査結果より）

令和4年度時点 84.7% ⇒ 令和10年度時点 100% (+15%)

※ 活動指標には「地産地消推進店数」を用いる。

◎プロジェクト「グリーン農業ひろがるプロジェクト」に掲げる指標

環境に配慮した農産物を選択したいと思う市民の割合（市政世論調査結果より）

新規設定（現在調査中） ⇒ 調査結果+15%（上記指標と同水準の伸びで算出）

【構成】（詳細は別紙あり）

◎これまでの取組を強化していくとともに、「グリーン農業への理解促進」を新たに追加

現計画の個別施策の構成

- ①手に入れやすい仕組みづくり
- ②市民が支える仕組みづくり
- ③安心感を高める仕組みづくり

次期計画



柱	基本施策	個別施策
生産流通体制づくり	地産地消の強化	①手に入れやすい環境の整備
		②市民全体で支え合う関係性の強化
		③安全・安心の見える化
		④グリーン農業への理解促進

3 今後のスケジュール

- ◎ 今後は「（仮称）第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画」と一体でパブリックコメント等の手続きを進めていく。

【スケジュール】

令和5年	11月21日	農業振興対策審議会
	12月	パブリックコメント
令和6年	1月	農業振興対策審議会【答申】
	2月	計画策定・公表

持つ社会的意義の理解促進を進める必要がある。
 市内農産物を容易に選択できるよう、情報発信の強化や農産物流通に向けた取組の支援を進める必要がある。

市内産農産物が積極的に選択されています。

・担い手の確保・育成やデジタル技術等を活用した生
 構築を図る必要がある。

取組内容（事業）

環境の整備
 積極的に気軽に手に取ることができ
 の増加や充実を図る。
 購入できる機会をいつでも
 情報提供・発信を図る。
 量や活用機会の増加に向け、
 の更なる関係構築を図る。

- 地産地消推進店認定制度や直売所支援を通じた販売機会の拡大・充実
- 購入機会の積極的な情報発信
- 生産者と実需者等マッチングの推進
- 6次産業化の効果的な活用

- 【具体的な取組】
- ・地産地消推進店認定・PR
 - ・農業王国うつのみやホームページの充実
 - ・地場農産物・販売店等マッチング事業
 - ・アグリビジネス創出促進事業
- 等

- 第2回地産地消推進会議における意見の主な反映先**
- ・飲食店での取組への支援（インセンティブの付与）
 - ・スーパー等消費者に近い関係者との連携強化
 - ・需給量を調整できるマッチングの仕組みづくり
 - ・既存の流通への影響の配慮（情報共有の徹底）
 - ・キッチンカー等既存の資源を活用した機会の提供
 - ・加工品（保存期間の延長、規格外の利活用）の活用

関係性の強化
 触れ、愛着を持ち、消費行動
 買い物などの日常生活の機会
 的意義を理解し、積極的に行
 よう、学校教育などライフス
 意識醸成を図る。
 つながりを知り、主体的に実
 験、実験の提供を通じた意

- 地産地消推進店等と連携した消費意欲の喚起
- 宇都宮産農産物に対する愛着の醸成
- 学校給食等における地産地消の推進
- 食や食育と連携した地産地消の推進
- 市民農園等都市農村交流（体験）の推進

- 【具体的な取組】
- ・地産地消推進店フェア・キャンペーンの実施
 - ・地産地消マルシェ・地産地消推進月間等多様な機会でのPR
 - ・給食への地場産マッチング支援
- 等

- ・市民に目立つPRの実施／食の提供等イベントにおけるPR内容の充実
- ・統一マークの積極的な活用／市産農産物が市民に見える仕組み
- ・ブランド推進と並行した市民の宇都宮産への愛着形成
- ・給食における地産地消の更なる推進（市街地学校への供給等）
- ・子ども食堂等多様な主体を巻き込んだローカルフードシステムの実現
- ・食育活動との連携した効果的な推進
- ・市民農園の活用促進
- ・農家と市民の交流の促進／交流促進に係る支援の充実
- ・イベント等活用した市民参画促進（顔が見える関係性の構築）

可視化
 産農産物を選択しつづけられ
 いた本市農産物の見える化や情

- 農産物の安全・安心対策の推進
- GAP認証制度など生産工程の見える化の普及
- 安全・安心な本市農産物の情報発信

- 【具体的な取組】
- ・直売所の巡回指導
 - ・農産物の安全・安心対策研修会
 - ・GAP研修会の開催
- 等

- ・直売所巡回の指導継続・強化

への理解促進
 グリーン農業の普及に対する協
 を通じて理解促進を図る

- グリーン農業啓発に向けた情報発信
- グリーン農業にかかる新たな需要の創

- 【具体的な取組】
- ・グリーン農業で生産された農産物のPR

「
 生
 の
 ・
 「
 ・
 の
 撮
 ・
 食
 「
 20
 ・
 ・
 及